

シックハウス対策にかかる建材の測定方法 JIS の制定について

平成20年3月18日

経済産業省産業技術環境局

産業基盤標準化推進室

経済産業省では、これまでシックハウス対策 にかかる建材の測定方法 JIS の整備に取り組んでまいりましたが、このたび本年2月20日付けで以下の JIS の制定公示を行いましたので、お知らせ致します。なお、これらの JIS は、平成14年度から17年度にかけて実施した経済産業省委託事業である「建材からの VOC 等放散量の評価方法に関する標準化」の成果によるものです。

※ 揮発性有機化合物(VOC)：沸点が $50\sim 250^{\circ}\text{C}$ と比較的低い温度で蒸発する有機化合物のことを、まとめて揮発性有機化合物(VOC: Volatile Organic Compounds)といいます。

- JIS A 1903 建築材料の揮発性有機化合物(VOC)のフラックス発生量測定法—パッシブ法

(概要)

この規格は、密封容器と捕集剤などを用いてパッシブサンプリングを行い、建築材料から空气中へ放散する揮発性有機化合物(VOC)のフラックス発生量を簡易に測定する方法について規定しています。

- JIS A 1904 建築材料の準揮発性有機化合物(SVOC)の放散測定方法—マイクロチャンバー法

(概要)

この規格は、マイクロチャンバーを用いて建築材料から空气中へ放散する準揮発性有機化合物(SVOC)の測定方法について規定しています。

※ マイクロチャンバー:建築材料から放散される SVOC を測定するための条件を制御できる小型容器。

- JIS A 1906 小形チャンバー法による室内空気汚染濃度低減材の低減性能試験法—一定揮発性有機化合物(VOC)、及びホルムアルデヒドを除く他のカルボニル化合物濃度供給法による吸着速度測定

(概要)

この規格は、JIS A 1901 に規定された小形チャンバーを用いて、建築物の室内空気中の揮発性有機化合物(VOC)及びカルボニル化合物を吸着、分解などを行うことによって、その汚染濃度を低減する性能をもつ建築材料の、濃度低減性能の 測定方法について規定しています。

- JIS A 1912 建築材料などからの揮発性有機化合物(VOC), 及びホルムアルデヒドを除く他のカルボニル化合物放散測定方法—大形チャンバー法

(概要)

この規格は、大形チャンバーを用いて家具、建築材料などから空気中へ放散する揮発性有機化合物(VOC)及びホルムアルデヒドを除く他のカルボニル化合物測定方法について規定しています。

なお、このたびの JIS 制定を含め、これまでにシックハウス対策に関連して整備された JIS は以下の表のとおりとなっています。

	ホルムアルデヒド	VOC
測定方法	JIS A 1901(小形チャンバー法) JIS A 1911(大形チャンバー法) JIS A 1460(デシケーター法)	JIS A 1901(小形チャンバー法) JIS A 1912(大形チャンバー法) JIS A 1903(パンプ法) JIS A 1904(マイクロチャンバー法)
サンプリング、試験条件等	JIS A 1902-1(ボード類、壁紙及び床材) JIS A 1902-2(接着剤) JIS A 1902-3(塗料及び建築用仕上塗材) JIS A 1902-4(断熱材)	JIS A 1902-1(ボード類、壁紙及び床材) JIS A 1902-2(接着剤) JIS A 1902-3(塗料及び建築用仕上塗材) JIS A 1902-4(断熱材)
その他 (低減材の低減性能試験法)	JIS A 1905-1 JIS A 1905-2	JIS A 1906

1. JIS の閲覧は、[日本工業標準調査会](#)のデータベース検索(JIS 検索)より可能です。

2. 規格票は、[\(財\)日本規格協会](#)より購入できます。